

公園周辺の戦争遺跡

名古屋大学豊川キャンパス内には、火工部の火薬製造施設や空襲の痕跡などがいくつか残っています。

冬季の12～2月に現地見学会を開催します。日時は決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。



便所

当時としては珍しい水洗トイレです。近くに500ポンド爆弾が着弾しており、その爆風等で建物の木造部分が失われた状態で残っています。



原料置場

煉瓦造の外壁に、鉄筋コンクリート造の屋根をかけた構造の建物です。煉瓦造の外壁にセメントを上塗りして仕上げていますが、空襲の被害で上塗りした外壁のセメントがはがれ、煉瓦がむき出しとなっています。



500ポンド爆弾の着弾穴

直径約8m、深さ約2mあります。